

市政を問う

平成20年第2回定例会

一般質問質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項および答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

自らの体験を踏まえ 生命・健康のご提案

無会派（新和会） **いとう 太郎**

☑ねんきん特別便について

この封筒には青・緑の封筒がありますが、その違いは何ですか？また市民からの問い合わせ等の相談は十分にできているのでしょうか？

☑ゆりかごから墓場までについて

大英帝国が豊かだった時代、出生から死を迎えるまで安心して暮らせることが、豊かさの象徴でした。現在の日本は社会が荒廃し、とても酷い状況にあります。市としての対応は？

(少子高齢化・後期高齢者制度・女性の社会進出・高齢・障害・低所得の方々の就労を含む)

☑特定検診と特定保健指導とかかりつけ医の件

7月から医療機関や市の受託事業者による保健指導が始まります。私の経験からすると血液検査等で異常があっても、忙しさにまかせて看過する傾向がありましたが、受診率の向上と適切な保健指導が重要だと思います。市の考えは。**福祉保健部長**市民の健康維持のため、実効性の上がる事業にしていきたい。

☑新学習指導要領の改訂の趣旨と市の対応は？

教育長新学習指導要領では、子供たちの「生きる力」をより一層育み、基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と、これらを活用する力の育成を目指し、国分寺市ならではの教育を家庭、地域、学校が一体となり進めていきます。

クールアースデーの 積極的な展開を望む！

公明党 **さの 久美子**

1. 環境問題 7月7日の洞爺湖サミット開催にあわせ、ライトダウンなど市として積極的な取り組みを要望。それに対し、従来の取り組みにあわせ、さらに検討したいとの回答。ついでケニアのワンガリ・マータイ博士の「もったいない精神」を活かせる運動を二点提案。①**エコキャップ運動の推進** 800個のペットボトルのキャップが1人分のポリオのワクチンに変わる運動。身近な物から環境問題を考え、人道支援できる運動を市内小中学校から推進するよう提案。教育長はこどもの自発性を重要視し、情報提供しながら一緒に考えていきたいとの答弁。②**レジ袋削減** ゴミ減量の観点からレジ袋辞退、マイバッグ推進が必要な施策であると述べ、リサイクル協力店で「一声かける！」運動の推進を提案。環境部長より協力店の拡大と業者の積極的参加を推進する取り組みをしたいとの答弁。

2. 安全・安心のまちづくり、防災教育 宮城県県の取り組みを紹介。こどもたちへの防災教育カリキュラムの工夫と防災意識の向上啓発を要望。教育長は体験活動重視の傾向から、防災教育にも発達段階に応じた取り組みが大事であると答弁。災害時の職員の体制や意識が不十分な現状を指摘、市民の安全・安心のために更なる努力が不可欠と強調。他、防災関連事項二点を問うた。

震災対策に万全を期し 市民の安全を守れ

公明党 **木島 たかし**

震災対策 市内の市立全小中学校の施設（校舎、体育館）が今年度で耐震改修の終了を確認。その他に、今年度実施の7つの施設の耐震診断の結果次第によって生じる改修工事は、財政フレーム計上見込みの用途に関して柔軟な政策判断を。**部長**優先課題として財源調整に努めつつ、その施設の役割も十分検討し方法を決めていく。**まちづくり条例の見直し** 国分寺街道等、歩道の無い都道沿線に開発計画が出た場合、都と連携して歩道設置が進むような規定が出来ないか。**部長**歩行者環境改善のために検討したい。**保育ニーズへの対応** ①待機児解消の具体策。②きょうだいで同一保育所への入所希望がかなわず別々になるケースがあり、保護者にとって大きな負担になっている。改善を求める。**部長**①今春、西国分寺保育園が開園したが、全体としてそれを上回る需要がある。定数の弾力化など解消に向けた方策を検討したい。②一定の優遇もあり、入所基準に基づき公平性のもとに選考しているが、今後も検討していきたい。**泉町の総務省施設の体育館について** 市民に貸していただけるよう交渉を。**部長**過去に要望したが現段階では困難。今後も交渉していく。他に地域猫の問題への対応として、飼い主のマナー向上への取り組み等について質問しました。

小中学校の耐震補強は 本当に大丈夫なのか？

自由民主党市議団 **井沢 邦夫**

1、学校の耐震補強は全校終わっているか？

答：平成8年度から着手、校舎は平成13年度完了。体育館は本年度中に完了予定。

井沢：補強工事完了とは震度ならいくつまで大丈夫といえるのか？それで本当に子ども達の安全は守られるのか？

答：震度5、6弱では大丈夫、それ以上では建物損傷しても人命の安全確保できる。

2、保育園や図書館・公民館等の公共施設の耐震化も27年度完了を前倒しすべきだ。

答：86施設中27が未実施、保育園は本年度中にほぼ対応、その他についても建替又は耐震診断を早期に実施予定。8月中間報告、財政の最優先課題として取り組む。

3、行政の透明化を図るため、企業並みの財務報告書を作成し市民との情報共有を。

答：来年9月からより企業会計に近い新しい財務システムをスタートさせる予定。

井沢：地方分権化加速の中で、いずれ資金も自主調達となるはず。広報体制の整備が必要。

答：今後とも研究努力してゆきたい。

4、後期高齢者医療制度は準備・説明不足。

高齢者へ優しい丁寧な対応が欠けている。但し制度批判するだけでなく、医療費総体につき世代間の負担や財源を議論すべき。

市民霊園創設、 市民アーティスト援護策、他

市民サイド **森 喜行**

●**市民霊園の創設について**…団塊の世代を中心に、多くの市民が地方出身者であること、近年、用いのあるところが故郷の親族縁者から公民館等市民活動を介した人間関係へ移ってきたこと、また宗教離れの動向も指摘して、墓地不足の今、コンパクトで今日的なメモリアルパーク的なものを市主導で創れないか、国分寺を真に「ふるさと」としたい人にとって、それは「死んでも尚居る場所」なのだから実現の可能性を模索すべき時だ、と訴えました。

●**市民アーティストの援護策について**…成熟した市民活動等を通じて多くの優れた市民アーティストが生まれている。プロに匹敵する技能を有する人や団体もあり、なかにはメジャーへの途をいま一歩踏み出す機会を狙っている人も。これを市の資源と捉え（様々な職業、例えばレコード会社の人なども来るかも知れない）市役所ロビーへのヘッドホン設置でCDの紹介を図るなど「出会い」を創る幅広い援護策を求めました。

●**公共施設の近隣対策について**…都市化に伴って学校や公園、駐輪場等の近隣対策が難しくなった。ややもすると過剰なサービス対策だと首を傾げる事例も出てきました。市民の税金が使われるのだということに十分留意し、市民的によりフェアできめ細かい対応を求めました。

スクールゾーンの安全対策 ・学校裏サイト他

公明党 **松長 孝**

問：公園遊具の安全対策について現状は？

答：優先順位等含めて検討してまいりたい。

問：スクールゾーンの安全対策について、特に連雀通りの踏切拡幅の完了を急ぐべきだ。

答：安全対策の向上を実施していく。

問：学校裏サイト・プロフについて、実情は3万数千の裏サイトがあるという情報もあり、実名で子ども同士がいがいじめを行っている。実際にプロフを調べたところ自分の出身幼稚園・小学校・中学校や、自分がどこで何曜に働いているか。そのようなことをみずから公開している。大変危険な状況である。市として対応は？

答：教員の研修と共に、学習機会に学校で子どもの教育をしていき、危険性について周知を図っていききたい。

問：校庭の芝生化の予定をお聞きしたい。

答：11月に芝生化の事業に入りたい。

問：仮設庁舎の色覚障害者に対するバリアフリーとして、階段段差認知シールを要望する。

答：6月中に対応する。

問：仮設庁舎移転後、公文書の管理・データ化は、市の文書管理規程に逸脱をしていないか？

答：9月をめどに解決していききたい。

問：文化芸術振興推進事業について。

答：御要望におこたえしていききたい。